

遠隔授業に関する Q&A 2022/03/15

Q1. 佛教大学で想定する遠隔授業は、どのような形態のものなのでしょうか。

A. 本学の基本的な遠隔授業は次のとおりです。

① オンデマンド型授業

・課題提示型：授業で使用する講義資料の配付や課題提出等による理解度確認や質疑応答、学生同士の意見交換を行う授業。

・映像配信型：講義動画やナレーション付き講義資料を配信し、課題提出等による理解度確認や、質疑応答、学生同士の意見交換を行う授業。

② 同時双方向型授業

・オンライン会議システム（Zoom や Google Meet）を活用し、リアルタイムで配信される講義や双方向で議論を行う授業。

③ ハイフレックス型授業

・同じ授業を対面授業とオンライン授業の双方で行う授業。本学では、ハイフレックス型授業が実施できるようにデジタルホワイトボードを設置している教室があります。利用される際は、授業初回にサポートさせていただきますので、学務課、もしくは講師控え室にお申し出ください。

Q2. 遠隔授業を実施するにあたり、何か制限や取り決めはあるのでしょうか。

A. 文部科学省より、面接受業に相当する教育効果を担保できるように「授業の終了後すみやかに」下記の2つを確保するよう、指導を受けています。

① 設問解答、添削指導、質疑応答等による十分な指導。

② 「学生の意見の交換機会」を確保する。

つまり、資料を提示し読ませるだけの授業や、授業動画を閲覧させるだけでは遠隔授業とは認められません。指導を行い、学生からの意見や質問に対応する必要があります。

Q3. 遠隔授業を実施するにあたり、テキストや教材による学修を一定時間自宅において行わせたい。例えば、メールや掲示板等を用いて質疑応答を行うことで、遠隔授業と認められますか。

A. 前述のとおり、授業外の子習・復習にあたるような、単にテキストを読ませるだけの形態は認められません。授業担当教員による Google Classroom のストリーム機能にて、当該授業の目的やねらい、テキストを読むにあたっての留意点や必要な視点・観点等を示し、毎回の授業実施に併せて質疑応答による指導を行ったうえで、Google Classroom の質問機能を利用し、学生の意見の交換機会を設ける必要があります。

面接受業と同等の教育効果が得られているか否かが判断の基準となります。

Q4. 外部機関等が提供している動画（Mooc、You Tube 等）で学修したことで、授業と認められますか。

A. 外部機関が提供している動画を、授業内の教材の一部として使用することは認められますが、それを、授業の代わりとすることはできません。

あくまでも、その視聴が授業計画（シラバス）の中で計画されており、かつ授業内の教材の一部として使用するのであれば、教材として認められます。

Q5.テキストの一部をPDFにしてGoogle Classroomに掲出したいのですが、問題はないでしょうか。

A.学校の授業における資料のインターネット送信やサーバへのアップロードについては、従来は個別に著作権者の許諾を得る必要がありましたが、「授業目的公衆送信補償金制度」が施行され、補償金を支払うことによって、無許諾で行うことが可能となりました。本学も2021年度から文化庁の指定管理団体である「一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会（SARTRAS）」に補償金を支払っており、授業内での著作物の利用が可能となっています。

これにより遠隔授業でも、改正著作権法第35条1項の範囲内において、授業やその予習・復習のために著作物を使用して作成した教材を学生へメールで送信したり、サーバにアップロードすることができるようになりました。

詳しくは、以下をご参照ください。

文化庁ホームページ <https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/index.html>

SARTRAS ホームページ <https://sartras.or.jp/>

Q6.遠隔授業の導入により、シラバスに変更が生じた場合は、どのように対応したらよいでしょうか。

A. B-net Portal のシラバス編集機能で編集し、本学学務課へご連絡ください。修正したシラバスの公開をさせていただきます。遠隔授業によって授業方法は変わりますが、授業自体の到達目標が変わるわけではないので、到達目標は修正できません。また、遠隔授業の取り扱いについては、その授業方法や時期、評価方法など詳細な記入をお願い致します。

また、シラバスの修正後は、必ず学生にも周知してください。

Q7.Google Classroom の使用方法がわかりません。

A. Google Classroom の操作マニュアル（B-net Portal ログイン後、左下メニュー「お気に入り」より参照）を参考にしてください。また、利用方法について動画もご用意していますので、参考にしてください。

本学ホームページ>大学案内>FD・SDへの取り組み>遠隔授業への支援

URL: <https://www.bukkyo-u.ac.jp/about/activity/fd-sd/web-learning.html>

Q8.何から始めたらいいのかわかりません。

A.まず、Google Classroom のストリーム機能を使用し、授業方法やスケジュール（資料掲出のタイミングや同時双方向での授業の場合はその実施日時）、評価方法、授業の概要を学生へお知らせください。

次に、授業の到達目標を確認し、その達成に向けどのような方法が良いのかを検討したうえで、その評価方法を設定してください。

Q9. 遠隔授業の出欠は、どのように管理すればいいでしょうか。

A.小テストやコメントをGoogle Classroomで提出させるなどして、出欠を管理してください。ただし、新年度の開始直後は、全ての学生のインターネット環境が整っているわけではないこと

を考慮し、極力、柔軟にご対応ください。レポート提出についても、パソコンの購入の遅れ等により、提出が遅くなることも想定されますので、提出期限についても柔軟な対応をお願いします。

Q10. Google ドライブとはどのようなものなのでしょうか。

A. Google の提供する「Google ドライブ」は、大容量の動画やファイル、写真を保存、共有できるオンラインストレージサービスです。

パソコンやスマートフォンなどあらゆるデバイスからファイルを保存、共有、アクセスできます。本学の先生方は無償でご利用いただけますので、今回の遠隔授業で、動画や資料を学生に提示する際にご利用ください。

お問い合わせ先

佛教大学 教育推進部 学務課

TEL: (075) 493-9004

e-mail: gakumu@bukkyo-u.ac.jp